

## 環境モデル都市選定評価表（評価項目と評価・採点方法）

### 1. 事務局

評価項目	評価・採点方法	評価・採点の視点
<b>①応募提案に求められるもの</b>		
1) 所定の様式による提案である	○×	・所定の様式による提案であるか
2) 応募主体が募集要領に基づくものである	○×	・応募主体が、募集要領Ⅲ「応募主体」に基づくものであるか
<b>②取組内容の具体性</b>		
温室効果ガスの削減目標が記載されている	○×	温室効果ガスの削減目標（5年以内、中期、長期）が具体的に記載されているか

### 2. 環境モデル都市評価・調査検討会

評価項目	評価・採点方法	評価・採点の視点
<b>選定基準（提案の視点）</b>		
①温室効果ガスの大幅な削減	A～E	温室効果ガス排出の大幅な削減など低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする提案であるか。
②先導性・モデル性	A～E	高い排出削減目標等を掲げ、その達成に向けて、省エネルギー、再生可能エネルギー、分散型エネルギー等へのシフトを進めるとともに、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む、他に類例のない取組であるか。また、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた全国及び世界の他都市・地域への、取組の波及効果が見込まれるか。
③地域適応性	A～E	都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であるか。
④実現可能性	A～E	地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組を牽引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施が見込まれるか。削減目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された実現可能性の高い計画であるか。
⑤持続性	A～E	新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるか。
①～⑤の総合的な評価	上記評価項目の総得点 A: 4点 B: 3点 C: 2点 D: 1点 E: 0点	-
定性的評価	今後我が国が目指すべき低炭素社会の姿を具体的にわかりやすく示し、低炭素社会の実現に相当程度寄与することが見込まれるか。	